

ノ様ニ明治十年頃始メテ大學デハ本式ニ純植物學ノ講義ヲスル様ニナツテ生氣アル學風年ヲ逐テ漲グル一方デアルニ引カヘ博物館ノ方ハ館長ガ交替シテ館ノ方針ガ變リ且官制モ改マツタ等ノ結果天產部ハ忽チ其勢力ヲ失墜シ了ッタガ之レニ反シテ大學ノ方ノ植物學ハ歲月ト共ニ進歩シテ遂ニ今日ノ發達ヲナスニ至ッタ (未完)

○染料ノ植物

篠崎 信 四 郎

輓近我邦ニ於ケル染織業ノ進歩發達ハ實ニ顯著ナルモノニシテ世界の市場ニ於テ敢テ遜色ナキニ至レリ而シテ一朝世界の大戦亂勃發スルヤ折角發達セル我染織業ハ大打撃ヲ蒙リテ恐慌ヲ來セリ是レ他力ヲ頼ミテ自給ノ途ヲ講ゼザリシ罪ナラズンバアラズ一例ヲ染料ニ觀ルモ外國製化學的人工染料ヲ重用シ内地ニ豊富ナル天然染料ノ利用ヲ輕視シツ、アルニアラズヤ是レ余ノ默シ難キ一事ナリ現代ニ於テ染料工業最モ進歩セルハ獨逸ナリ獨逸ハ科學研究旺盛ナル國ニシテ併モ天然染料ニ乏シク其需用ハ之ヲ外國產ニ仰ギ年々莫大ナル輸入ヲナセシ國ナリ國狀既ニ然リ國家ヲ愛スル良民アルアラバ天然染料ノ輸入ヲ防遏シテ新ニ化學的人工染料ヲ創製シ以テ國產ヲ興スニ心血ヲ注グ者輩出スベキ理ナリ果セル哉獨逸國民ニハ此理想アリキ而シテ此理想ハ工業家ト化學者トノ協力ニヨリ既ニ實現セラレ「コルタール」ヨリ「アニリン」ヲ製スル事ガ發明セラレテ以來約八十年間ノ努力功ヲ奏シテ今日ノ名聲ト國益トヲ贏チ得タルハ誠ニ羨望ノ至ニ堪エザルナリ然リト雖ドモ我國染織業家妄ニ彼ノ尾ニ附シテ己ヲ顧ミズ徒ラニ世界ノ大勢ニ後レザラン事ヲ憂ヒテ外國製化學的人工染料ノミヲ賞用スルハ決シテ國家ヲ愛スル所以ニアラズ又將來勃興スベキ我國染料製造工業家ガ國產天然染料ノ利用ヲ抑制シ我慾ヲ恣ニスルガ如キ事アラバ是レ愛國ノ精神ニ悖ル所業ナリ我國ハ獨逸ト國狀ヲ異ニスレバ人工染料ノ如キモ單ニ石

炭乃至「コルタール」ノミヲ原料トナサズ廣ク天然染料ニモ其原料ヲ索ムベキナリ斯シテ我國獨特ノ染料ヲ創製シテ之ヲ世界市場ニ供給シ以テ獨逸ノ地位ヲ我國ニ於テ占ムルヲ要ス「アリザリン」染料市場ニ名ヲ成シテ天然染料ノ一タルあかね類ノ栽培廢絶シ「インデゴビュア」商品トシテ販賣セラル、ニ及ビテあわノ栽培衰微スルニ至リシヲ看レバ化學的人工染料製造ノ目的ガ天然染料ヲ市場ヨリ驅逐シ更ニ優良ナルモノヲ得ル事ニアルベキヲ想ハシムレドモ是レ前述ノ如ク天然染料ヲ輸入スル國民ノ企望ガ完成遂行サレタル一證ニ過ギズシテ將來我國ニ於テ此轍ヲ履ム者アラバ大ナル心得違ナリ要ハ天然染料豐富ナル我國ニ於テハ既知ノ化學的人工染料製造法以外更ニ天然染料ヲ精製加工シテ新規ナル人工染料ヲ製造スル工夫アルベキナリ而シテ天然染料ノ大部分ハ植物ニシテ此利用ハ吾人ノ大ニ期待スル所ナリ、次ニ參考ノ爲メ古來我邦ニ於テ染料ニ供シツ、アリシ植物ノ種類ヲ舉ゲ以テ後日研究ノ資料ニ供セン

●かりやす 莖葉根莖ヲ採リ黃色染ヲナス是レハ現今ニ於テモ市場ニ取引アリテ十貫目三圓五十錢位ノ市價アリ●をひるぎ 樹皮ヲ採リ褐色染ヲナシ又紺ノ下染ヲナス是レハ現今丹柄、丹殼、紅樹等ノ名ニテ市場ニ取引アリ時價百斤五圓内外ナリ●やまも 樹皮ヲ採リ赤茶色若クハ黃色染ヲナスサレド多クハ單寧劑トシテ使用シ他ノ染料ト混ジ黑色茶色等ヲ染ム市場ニ於テハ澁木ノ名ニテ知ラレ時價一圓ニ付二貫乃至二貫五百目ナリ●こぶなくさ 莖葉ヲ採リ黃色料ヲナス八丈絹ノ黃色ハ是レニテ染ムル由ナリ●はりぐは 材ノ煎汁ニテ黃色染ヲナス●いぬぐす 樹皮ヲ採リテ靑色染ヲナス●めぎ 材ヲ採リ黃色染ヲナス●へびのぼらず 同上●なんてん 莖及ビ根ヲ採リテ黃色染ヲナス●とち 樹皮ヲ採リ赤褐色染●あわ 莖葉ヲ採リ藍澱藍澱等ヲ造リ藍色紺色等ヲ染ム我國ノ染料トシテハ最も重要ナルモノ、一ナリ●りうさうやまあわ 葉ヲ採リあわノ代用ニ供ス●さはだ 樹皮ヲ採リ黃色染●ぬるで 葉ノ蟲癭即チ五倍子ヲ採リ單寧劑トシテ重用ス●そよご 葉ヲ採リ赭褐色染●あかめ がしは 葉ヲ採リくろ色染●すみ類 樹皮ヲ採リ黃色染●こりんご 同上●はまなす 根皮ヲ採リ木綿ヲ樺色染ニシ

○楊梅ノ品種並ニ効用

在東京 田村利親

楊梅ハ顯花植物中雙子葉類ノ楊梅科ニ屬スル常綠互生葉ノ喬木ニシテ和名ヲやまもト呼ビ漢名ヲ楊梅ト唱ヘ又其學名ヲ *Myrica rubra* Sieb. et Zucc. ト稱シ山野自生ノ果實中最モ貴重スベキモノナリ

楊梅ノ名稱ハ種々アリ支那ニテハ宗ノ開寶本草ニ楊梅ト云フ明ノ李時珍ノ本草綱目ノ說ニ依レバ其形水楊子ノ如クニシテ其味梅ニ似タリ故ニ名クトアリ又段氏ガ北戸錄ニ杔子ト名ク楊州ノ人白楊梅ヲ呼デ聖僧ト云フ其他楊梅ノ果實ヲ楊家果、火實、鶴頭紅、楊果、龍青、楊氏子、火齊、金丸日精トモ云フ

日本ニテやまもト云フハ山百^{やまも}ト云フ義ナリ百^{やまも}トハ凡テ數ノ多キヲ唱フル語ニシテ果實ノ多ク房ヲナシテ

楊梅ノ品種並ニ効用

絹ヲ黃褐色染ス ● べにばな 花ヲ採リ紅色染 ● わうれん 根莖ヲ採リ黃色染 ● たいせい 一名はとくさ 葉ヲ採リ青色染 ● むんじゅ 花ノ蒼ヲ採リ黃色染 ● せんぶり 根ヲ採リ黃色染 ● そめしは 葉ヲ採リ黃色染ヲナスサレド是レハ染法ノ定着劑ニ供スルコト多シ ● ひらさき 根ヲ採リ紫色料ヲナス此場合ニハひさかさ灰汁ヲ使用ス ● めはじき 生葉ニテ綠色染ヲナス ● くさぎ 熟果ヲ採リ碧色染 ● かぎかづら 莖ヲ採リ赤色染 ● くらなし 果皮及ビ果肉ヲ採リ黃色染 ● あかね 根ヲ採リ赤色染 ● すひかづら 熟果ヲ採リ帶黃綠色染 ● 尚ホ此他色素若クハ染料トシテ

あぶらざり ● まこも ● いたどり ● ざしざし ● うめ ● かな ● ぶな ● くらぎ ● かし ● かしは ● はんのき ● くるみ ● のぶのき ● り而シテ外國種ノ植物ニテハうこん ● さやうわう ● なんさん ● はぜ ● すはう ● 等古クヨリ知ラレタリ

現時外國ヨリ植物性染料トシテ我邦ニ輸入スル品ニハ

ド	バーウード	サンダーウード	フラビン	フスチック	オルチル	カタキユ類	ログウード	インデゴ等アリ
レッドウード	リマウード	ブラジルウード	カムウー					